

テーマ	利益測定と資産評価の基礎概念（Ⅲ）								
学籍番号								氏名	

1. 次の文章の空欄にあてはまる語句を答えなさい。

- ・ 資産は、将来時点で企業にキャッシュ・フローをもたらす能力を持った資源である。資産が持つそのような能力は、（ ① ）とよばれる。
- ・ 現金は一定期間の運用によって利子を生じるから、将来キャッシュ・フローの価値を現時点で評価すれば、その価値がキャッシュ・フロー自体の金額より小さくなる。これを将来キャッシュ・フローの（ ② ）とよぶ。
- ・ わが国の現行の会計基準は、資産を 2 種類に分類したうえで、取得原価と時価による評価を区分して適用している。個別の状況は（ ③ ）とよばれる。
- ・ 企業が保有する資産のうち、生産や販売など本来の企業活動に用いる資産を（ ④ ）とよぶ。（ ④ ）は、（ ⑤ ）が原則的な基準として採用される。他方、余剰資金の運用として保有する所定の（ ⑥ ）は、現在の市場価格を中心とした（ ⑦ ）で評価される。
- ・ 原価基準のもとでは、棚卸資産や有形固定資産のような事業用資産は、いったん取得原価で資産計上された後、その消費に応じて各事業年度の費用として配分されなければならない。この処理原則を（ ⑧ ）という。

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧			

2. 事業用資産が原価基準を採用する理由を事業用資産の特徴も示しながら述べなさい。

.....

.....

.....

.....

3. 金融資産が時価を採用する理由を金融資産の特徴も示しながら述べなさい。

.....

.....

.....

.....

授業の感想など	
---------	--